

第3回埼玉県スマート農業普及推進研究会 議事概要

1 日時：令和2年11月11日（水）14時00分～16時00分

2 場所：埼玉会館7B会議室

3 出席者

【委員】 澁澤会長、豊井委員、日高委員、金子委員、船川委員、木村委員、
齋藤委員、中畝委員、鈴木委員、強瀬委員

【県】 小畑農林部副部長、野口農業支援課長他

4 議事概要

(1) 第2回埼玉県スマート農業普及推進研究会議事概要について

- ・議事概要及び関連資料について、修正の有無及び公開に対する確認を行った。
- ・研究会中に修正の申し出はなく、公開に対する反対意見もなかったため、公開対応とする。

(2) スマート農業技術の実証に取り組むモデル経営体の選定について

- ・応募があった7件の申請内容について検討を行った。
- ・以下の5件について、モデル経営体の候補者として選定することとした。

モデル経営体 (市町村)	課題と実証内容
行田型スマート 農業実証チーム (行田市)	〈課題〉本県の特徴的な米麦二毛作での切り替え時の作業集中。 〈実証内容〉RTK固定基地局のシェアリングによる費用対効果の検証と自動操舵システムを搭載したトラクタの耕うん作業などによる労働時間の削減効果。
有限会社 中条農産サービス (熊谷市)	〈課題〉高温下での彩のかがやき等の高品質安定生産と省力化。 〈実証内容〉モニタリングシステムによる気象データの見える化及び自動水管理システムの活用による労働時間の削減と高品質安定生産効果。
荻野浩 (本庄市)	〈課題〉水稻の安定生産と低コスト化及び本県の特徴的な米麦二毛作での切り替え時の作業集中。 〈実証内容〉高性能コンバイン（収量・水分センサー）により、分散するほ場毎の正確な収量等をデータ化し、収量・品質の向上や肥料の削減及び水分毎に区分した乾燥による作業時間の削減効果。
株式会社 壽農園 (鴻巣市)	〈課題〉本県の特徴的な米麦二毛作での切り替え時の作業集中及び農地集積が進む担い手における効率化。 〈実証内容〉1台の自動操舵システムをトラクタや乗用管理機を活用した、不耕起播種栽培における労働時間の削減効果及び乗用管理機を活用した雑草防除における省力化。
株式会社 おおや農園 (加須市)	〈課題〉小区画・多ほ場の本県における作業の効率化と規模拡大。 〈実証内容〉小区画・多ほ場下で無人ロボット田植機と既存の田植機を同時使用することによる、作業時間や人員の削減効果と効率化。

以上